



Be an ACE!

大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校
H26学校だより No. 47

平成27年3月24日発行

3年間の通信簿

校長 武藤正美

みなさん、こんにちは。平成26年度の1年間も、今日で一つの区切りです。

今ほどの、5年生の吉田さん、「国越えて羽ばたくために」の校歌の一節をまさに実践しています。本校で長期の留学は2人目です。これからいろいろなことにチャレンジして、様々な知識を吸収して、一年後の本校へ新たな風を吹き込んでほしいと思います。

さて、先日の18日には、Ⅲ期生114名が、6年間の学習を終えて、晴れて卒業証書を手にし、本校から旅立っていきました。大学入試も国公立後期日程の合格発表が終わりました。4月のPTA総会で保護者の方々に、東大・京大・医学部医学科等難関大2桁を含む、国公立大学60人の合格を目標にすると宣言しました。昨日ちょうど60人だと聞きました。Ⅲ期生の生徒諸君はよく頑張ったと思います。

皆さんは一年間の成果を十分に達成できましたか。日々の学習も大切ですが、定期的に振り返って、当初、自分が考えたように成果を上げることができたかを、チェックすることも大切です。そして、目標達成に違ったところがあれば、やり方を修正するなどして、自己をレベルアップするための、新年度目標をしっかりと立てて下さい。

私は、これで本校にお世話になって3年になります。この間の学校の自己評価、総決算を、大志・貢献・活力の観点から話します。

大志

志を抱く観点では、学校がみんなの望みをいかに叶えたか、つまり、しっかり進路保障できたかが課題になります。3年間で325人が本校を卒業しました。そして、浪人も含めると、東京大学3人、京都大学3人、医学部医学科4人、国公立大学153人の実績は、よく頑張ったと考えています。卒業生の皆さん一人ひとりの頑張りがこの数字になったのですが、先生方の適切な指導に改めて感謝するものです。これまでのチャレンジのデータが蓄積されてきて、大切な資料となりますから、今後、Ⅳ期生・Ⅴ期生にとって大きな武器となるでしょう。さらに実績を上げて欲しいと思います。

貢献

貢献の観点では、生徒会の資源回収プロジェクトの取組が結果を出したことがとても印象に残りました。2年前から始まって、いつ形になることかと危ぶまれていましたが、立派な車椅子になって、隣のツクイサンシャインさんに寄贈する成果となりました。日々の小さな取組が積み積もり大きな成果になることを実感しました。

また、Ⅵ期生のあすなろ探究活動の一環で行ったユニクロの古着回収の取組も近くの小学校を巻き込んでの大きな成果となりました。先日の成果発表会の様子は、上越タイムスにも取材されています。みんなの取組が、遠くの国の知らない人たちや子どもたちにとって、大きな助けになっていることがとてもうれしかったです。

活力

体育祭や校内合唱コンクール、チャレンジウォークなど本校独自の行事を、3年間続けることができたことを、うれしく思っています。一番大変だったのは、2年目のチャレンジウォークだったと思います。前日までの大雨で当初のルートが歩ける状況でなく、急遽変更を余儀なくされましたが、先生方の適切な対応で、無事終えることができたことを昨日のことにように思い出します。結果的に3年間は、みんな違ったコースになりましたが、それもよかったかなと思います。

私個人としては、今回1年生の皆さんに加わって、スキー授業に参加したことが忘れられません。本校卒業後、県外に出て新潟県出身とわかると、スキーやボード、スケートが大変うまい人だと思われれます。そんな時のためにも、ひとつくらいウィンタースポーツに堪能になるとよいでしょう。

それから、懸案であった、生徒会機関誌『海原』が産声を上げたことも大きなことです。これから大事に育てて行かなくてはなりません。

大志・貢献・活力、これは本校がこれからも常に標榜する言葉であると思います。日々の学習活動においても、目先のことばかりでなく、その先にどうすべきかを見据えた取組が重要なのだと思います。3年間で、大きく整備できたところもあり、通信簿を作るとすれば、一定の及第点をもたらるのではないかと思います。もちろん、まだまだ未整備な所もあります。SGHの申請が叶わなかったことも悔しいことです。私の任期はこれで終わりますが、これからも直江津中等教育学校をより良くするための取組が大切であると考えています。

明日から春休みになりますが、学校は新年度の準備をしっかり行って、4月6日、新入生の第Ⅸ期生を迎えたいと思います。どうか休み中、事件や事故に遭わないよう、6日にお兄さん・お姉さんになって新入生を迎えることができるよう、充実した日々を過ごしてください。

平成 26 年度末・平成 27 年度初 人事異動

退職・転出者							
職名	教科	氏 名	転出先等	職名	教科	氏 名	転出先等
校長		武藤 正美	定年退職	教諭	保体	丸山 卓真	県立糸魚川白嶺高校
教諭	地公	大塚 俊夫	県立高田北城高校	教諭	英語	生田 昌司	県立新潟商業高校
教諭	数学	中田 博文	県立久比岐高校	教諭	英語	廣河 麻子	県立新津南高校

あすなろ探究成果発表会・後期課程進級式

ご承知のとおり中等教育学校は、高校入試がなく後期課程に進級することができます。そのため、学習内容を先取りできたり、各種行事を充実できたりと他の一般校に比べ、メリットがたくさんあります。しかし、高校入試がないことで3年次に中だるみ傾向があります。このデメリットを克服し、「自立して学ぶ学習者」を育成することを目指し、本年度以下の説明のとおり「あすなろ探究」をスタートさせました。義務教育の修了を迎え、3年生が1年間の成果を下級生及び保護者の前で発表するとともに後期課程進級式を行いました。

【あすなろ探究とは？】

本年度より直江津中等教育学校では、「自立して学ぶ学習者」の育成を目指し、3年生で新たな教育活動「あすなろ探究」をスタートさせました。以下の「探究のプロセス」に従って、1学期は「総合的な学習の時間」、2学期は月曜7限に相当する時間に、興味関心から生徒自身が選んだ6つの分野（国語・社会・数学・理科・英語・技術）で、自ら課題を設定し、探究を進め、結果をまとめ、発表する活動を行ってきました。

「あすなろ探究」では原則、自主的に探究活動を進めます。自主的な探究活動の「内容」から学ぶことはもちろん、「計画」と「振り返り（自己評価）」を大切にすることで、「自立して学ぶ学習者」に必要な、「見通しをもって自らの活動を構築（オーガナイズ）し、改善を図りながら進める力」の育成を目指します。

あすなろ探究成果発表会

【表彰】

- ・いきいきわくわく科学賞 2014（理科）
- ・人権作文コンテスト新潟県大会（社会）
- ・第10回 IPA ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール 2014（技術）
- ・平成 26 年度 国際理解教育プレゼンテーションコンテスト（国際）
- ・ダマされま川柳コンテスト in 新潟（国語）

【発表】

- ・「見つけよう！！わたしたちの New Life」
- ・「植物の葉にひそむ不思議な数学」
- ・「未来につながる国語」
- ・「各種検定について3年生に聞いてみた」
- ・「水落下による威力の研究」
- ・「ウォーターカッターの性能向上の研究」
- ・「メタンハイドレートの採掘アイデア」
- ・「笑う門には福来たる」
- ・「世界における人権侵害」
- ・「週末課題とテスト」
- ・「円周率の歴史と不思議」
- ・「朝ごはんのススメ」
- ・「筆箱の中から見える世界」



○ 保護者の皆様のご協力・ご支援により、平成 26 年度の全教育課程を終了することができました。心より感謝申し上げます。